

最近話題の「SDG s」

ー「SDG s」と障害者ー

昨今、「SDG s」という言葉をよく見聞きする。「SDG s」とは「“誰一人取り残さない (leave no one behind)”というスローガン、及びその目標に対して、多角的に寄与するもの」¹である。“誰一人取り残さない (leave no one behind)”という考え方は障害者も含めたすべての人が共存していくために必要な考え方であり、SDG sの広がりには障害者の“生きやすさ”にも影響を与える。では、このコラムでは障害者の“生きやすさ”に関連した「SDG s」を紹介したいと思う。

ー障害者の“生きやすさ”に関連した「SDG s」ー

障害者の“生きやすさ”に関連した「SDG s」の目標として私が取り上げるのは以下の3つである。**3**「すべての人に健康と福祉を」、**10**「人や国の平等をなくそう」、**17**「パートナーシップで目標を達成しよう」

3「すべての人に健康と福祉を」においては重度の障害があり医療的ケアが必要な人に必要な医療的なケアを施すことが考えられる。

10「人や国の平等をなくそう」においては障害を理由として差別されないようするという課題があげられる。

17「パートナーシップで目標を達成しよう」においては障害者や多様な人と商品開発やサービス品質の改善にあたる「インクルーシブデザイン」を普及させていく。

ーまとめ[^]

「SDG s」という考え方が広がり、実行されれば社会はもっと良くなることは間違い。さらに、障害者の“生きやすさ”も向上していくため、「SDG s」を推進していきたい。

¹ 日本ケアフィット共育機構 [SDGs への取組み | 公益財団法人 日本ケアフィット共育機構 \(carefit.org\)](https://www.carefit.org)